

県民ひろば

2023年8月10日

No. 65

発行／県民クラブ
連絡先／大分県議会
大分市大手町 ☎(097)536-1111(代)

https://
kenmin-club.com/



誰一人も取り残さない大分県をめざして

県民クラブ代表 玉田 輝義



6月30日と7月25日の大雨で被災した皆様にお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々にお悔やみを申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興に向けて私たち県民クラブもその取組をしつかりと支えてまいります。

4月の統一地方選を終えて私たち県民クラブは、11名で出発することになりました。今回の選挙は、人口減少と高齢化が進む中で大分県及び県内市町村が直面する課題を解決し、持続可能な地域をどのように創造していくかという、地域の未来を選択する重要な選挙であったと考えます。その重要な選挙で、私たち県民クラブ所属議員は、それぞれの選挙区で「県民誰一人も取り残さない大分県を創る」と訴え、厳しい戦いを勝ち抜き貴重な議席をいただきました。県民の皆様が改めて厚くお礼を申し上げますとともに、県民の皆様のご期待に応えるべく、努力を致してまいります。

しかし一方で改選前の14議席を維持できなかったという厳しい現実も受け止めなければなりません。コロナ禍によってさらに格差が広がった中で、改めて、県民誰一人も取り残さないという強い思いを県民生活の現場から、県政に声を上げていかなければならないと考えます。

県政では20年ぶりに新しい知事が就任し、佐藤県政がスタートしました。7月14日の県民クラブの代表質問では、人口減少・高齢化への対応、コロナ後の地域振興策、地球温暖化対策、物価高騰への対応、安全保障環境が変化する中で県民の安全の確保、防災・減災対策の6つの直面する課題を挙げて、佐藤知事にこれらの課題解決に向けた基本的な姿勢、そ

して県民の声を聴くための具体的な取組について質しました。

佐藤知事は、知事が目指す「誰もが安心して住み続けたい大分県」の実現に向けて県民クラブの指摘は全力で取り組まなければならない大変重要な課題としたうえで、「対話」「継承・発展」「連携」の3つを基本姿勢として胸に刻み、県民とともに明日の大分県を新たなステージへと発展させていくと述べました。

今年度から新しい総合計画の策定作業も始まりました。「安心」「元氣」「未来創造」そして「共生社会」を柱に議論されるようですが、議会では2024年の第1回定例会で素案、第2回定例会で素案が議論され、パブリックコメントを経て来年9月に最終的に議論されるその結果をもって決まります。

新しい知事のもとで策定される新しい総合計画です。県民クラブとしても二元代表制の一端を担う立場から、私たちが指摘した6つの課題の解決に向けて具体的な取組みが進められる計画であるか、県民誰一人も取り残さない大分県を創造するための計画であるか、そして知事が「胸に刻む」と述べた「対話」「継承・発展」「連携」の3つの基本姿勢を貫いたうえで策定される計画であるかなどについて、策定の段階から県民目線の意見反映を図ります。

さて、今期、県民クラブでは前期まで県内で行っていた地域課題調査に加えて、県政の課題を県民の皆さんと共有し学習していくため、各地でシンポジウムを継続して行っていくことを決めました。この機会を通じて、誰一人も取り残さない大分県を創造する取り組み県民クラブが主体となって進めていきたいと思っております。今秋から随時県下各地で行う予定です。皆様の参加をお待ちしております。